

男女共同参画社会の実現に向けて

編集・発行／世田谷区生活文化部 人権・男女共同参画担当課

2017 年 12 月発行 世田谷区広報印刷物登録番号／第 1563 号

〒154-8504 世田谷区世田谷 4-21-27 TEL5432-2259 FAX5432-3005

制作・印刷／(株)文化工房

らぶらす

NO. **76**
2017.12

巻頭インタビュー

元競泳背泳ぎ日本代表 寺川 綾さん

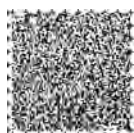
ボーダーラインのない 働き方と生活

～女性が活躍する
社会はかっこいい～

仕事と生活の調和
(ワーク・ライフ・バランス) が
とれた社会をめざして

平成 29 年度
世田谷区男女共同参画先進事業者表彰
受賞者決定

らぶらすなひと



この情報紙の表紙には、目の不自由な方などへの情報提供に役立てられている
音声コードを印刷しています。

「音声コード」は紙に掲載された印刷情報をデジタル情報に変えたシンボルで、約2cm 角の中に日本語（漢字かな交じり）で約800文字の情報を記録することができます。専用の活字文書読み上げ装置を使用して音声で内容を聞き取ることができます。「音声コード」の横には、視覚障害の方が触覚によりコードの位置を把握できるよう、切り欠きを入れています。



巻頭
インタビュー
元競泳背泳ぎ日本代表
寺川 綾さん

ボーダーラインのない働き方と生活 ～女性が活躍する社会はかっこいい～

日本の女子水泳界をリードし、オリンピックなど国際大会でメダルを獲得してきた、寺川綾さん。現在は、多様な仕事に挑戦するとともに、一児の母として子育てに取り組んでいます。現役を退いて気づいたこと、子どもを持って気づいたことなど、今の想いを語っていただきました。

現役時代は目標に向かって一直線

「現役選手の頃は、大変だったでしょう」ってよく聞かれるんですが、困難にぶつかっただけだと思ってたことは一度もありませんでした。いつも目標を持って、それを達成するために何をやらなければいけないかを理解して行動していました。

その目標とはオリンピックで、そこに出場して納得のいく結果を出すことが、当時のモチベーションのすべてでした。楽しいこともあれば悔しいこともありましたが、精一杯頑張る日々はとても充実していて、つらいとは一度も思いませんでした。

オリンピックをはじめ世界の舞台でメダルが取れたことは、もちろん

嬉しい出来事でした。何より嬉しかったのは、サポートしてくださった方々、水泳教室や講演などで初めて出会うたくさんの方々が喜んでくださったことです。

アスリートの経験を生かして
多様な仕事に挑戦

大学卒業後から現在に至るまで、スポーツ用品メーカー「ミズノ」の一社員として活動をしています。2013年に現役を引退しても、同社の社員という立場でいろいろな仕事をさせてもらっていて、スポーツキャスターもその一つです。水泳に限らず、ときにはまったく知らなかったスポーツの世界も目の当たりにできるので、とても貴重な経験ができ、勉強になっています。

取材の仕事では、自分もアスリートだった経験が少しはプラスになっているかもしれません。例えばアスリートへのインタビューなどで、私自身が現役時代に同じように取材を受けて感じていたことが、今度は立場を変えることで生かしているのではないかと感じています。

会社が、選手時代はもちろん、今も私の活動についてよく理解してく

れているおかげで、さまざまな分野に自由にチャレンジできています。そうした環境をずっと作ってもらえていることには、とても感謝しています。

夫と会社の協力で
子育てに奮闘中

現役引退後に結婚、そして出産をしましたが、この経験は自分にとって「衝撃的」でした。選手時代は、「自分が今何をすべきか」ということが優先で、もっと言ってしまうと、他人を押しつけることも強くなることだけを考えていればよかったんです。でも、家庭を構えたらそうはいきません。特に子どもを持つてからは、「子ども最優先」で考えることになりました。自分がやりたいことがあっても、子どもが求めることを真っ先にやらなくてはいいけない。もちろん夫に対してはそうですが、自分以外の誰かのために何かをやっているというのが新鮮な驚きでした。

仕事と子育てを両立するのは、もちろん大変だと思うことも少なからずありません。仕事がようやく一段落して携帯電話を見たら、子どものことで保育園から何件も着信が入って

いてびっくり、なんてこともありました。

もちろん、子どものためにやれることはやっているつもりです。ただ、夫も私も仕事を持っていますので、どうしても子どものために休めなかったり、一緒にどこかに行つてあげられなかったりすることがあります。そうしたときに、あえて「申し訳ない」って気持ちを抱かないようにしているんです。それは、子どもと離れている時間でも仕事に集中して頑張ることが結果的に子どものためになると思うからです。

仕事が予定外に長引いて、焦って保育園にお迎えに行ったりすると、そういうときに限って、うちの子が泣いて待っていることがあります。

焦ったり慌てたりするマイナスな気持ちって、子どもにも伝わってしまっているような気がします。

夫とは、家のことはなるべく平等に分担しよう、お互いに協力し合おう、と話しているんです。何かやろうとするとき、結婚した当初は自分と夫のどちらがやればいいのかわからず戸惑うこともありましたが、今は手の空いている方がパツとやりとりして自然に分担ができるようになりました。

子育てに関しても、会社のフォローがありがたいです。例えば、保育園から年間行事予定が配布されると、「この日とこの日はお休みを取らせてください」とすぐに会社側に伝えて、その日に仕事を入れないようにして



仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) がとれた社会をめざして

世田谷区では、世田谷区第二次男女共同参画プランに
基本目標Ⅱ「ワーク・ライフ・バランスの着実な推進」を位置づけています。
区民(家族)、地域、産業(事業者)が連携してワーク・ライフ・バランスの推進に取り組むことで、
家族も喜び、地域も元気に、そして職場も活気があふれる世田谷を実現していきます。

家族

〈家族のふれあいいっぱい〉
大作戦

家族の団らんや地域活動が充実し、
家で豊かな時間をすごせる
世田谷をめざします。

地域

〈地域の課題みんなで解決〉
大作戦

区内に住む人、働く人が、地域資源を
有効に活用しながら、
ワーク・ライフ・バランスを推進できる
世田谷をめざします。

産業(事業者)

〈働きたくなる職場倍増〉
大作戦

働く意欲のある人の経済的自立や、
職場環境・働き方の改善を支援し、
安心して働き続けられる
世田谷をめざします。

「世田谷区ワーク・ライフ・バランス推進指針」の3つの取り組み

主な取り組み内容

地域で遊ぼう!

ファミリーデー★キャンペーン

イベントを通してワーク・ライフ・バランスの考
え方の普及を図っています。

男女共同参画先進事業者表彰

男女がともに働きやすい職場づくりに向けて先進
的に取り組んでいる区内の事業者を表彰しています。

平成28年度

男女共同参画先進事業者賞受賞事業者が
ファミリーデー★キャンペーンに参加しました。

小杉造園株式会社

造園業



北沢1-7-5
☎03-3467-0525
<http://kosugi-zohen.co.jp>

あきさみよ
豪徳寺神楽祭
出展内容
造園のミニ体験を
しよう!
四つ目垣の結び方

株式会社三恵

小売業



太子堂4-23-13
☎03-3413-6119
<http://www.sangendyaya.co.jp>

三茶 de 大道芸
出展内容
「三恵」グッズを
プレゼント

株式会社澤速記事務所

速記・情報サービス業



北沢2-22-13 XAビル3階
☎03-3413-5821
<http://www.sawa-sokki.co.jp>

大山みち
フェスティバル
出展内容
速記文字で
名刺をつくらう!

競技一辺倒の現役を退いて、一人の人間として外の世界がちゃんと見渡

女だから男だからでなく
ボーダーラインのない
働き方が素敵

最近、子どもの成長とともに私とのコミュニケーションも変わってきました。時間が足りなくて自分の手できないことがあると、「あ、ママできないな」って子どもの前で言うようにしているんです。そうすると、子どもが「ママ、できないならやってあげる」って言って手伝ってくれるんです。おかげでとても助かっていますし、以前なら気持ちの余裕をなくしがちだった場面でも親子でとても和んでいます。

母、妻としてだけでなく一人の人間として何かやれることがあるのいいと思います。

仕事にはたくさんの方が関わっているの、私一人の都合で急に休むことはできないだけに、子どもに配慮したスケジュールを組んでもらえているのは、とてもありがたいです。現在、やりたい仕事ができているのは、保育園に加えて、夫、会社の協力があるからだと思っています。

働くお母さんがどんどん増えていますが、家庭や子どものためにみんな一生懸命に頑張っています。もちろん、お父さんが保育園にスーツ姿で送っていく姿も珍しくありません。そういう光景ってほんとにいいなと思います。

子育ては、やはりお母さんとお父さんが協力し合わないとな立ちません。そうすると、女性だからこうしなきゃいけない、男性だからこうしなきゃいけないという決まったやり方ってなくなるように思います。お互いに協力しつつも、その家庭の状況に合った子育ての形があつていいし、子育てに限らず男女のボーダーラインのない働き方と生活というのが素敵だと私は感じています。

世の中の仕組みや習慣をすぐに変

東京オリンピック、世界水泳、さらなる将来に向けて

えることは難しいかもしれませんが、少しずつ変えていくことが大切なのではないでしょうか。



寺川 綾

元競泳水泳選手。1984年、大阪府生まれ。3歳で水泳を始め、高校2年生だった2001年、福岡市で行われた世界水泳選手権で注目を集める。2002年のパンパシフィック水泳選手権で2位となり、その後、近畿大学へ。大学卒業後は、ミズノの社員選手として活動。現役時代、アテネ・ロンドンの2つのオリンピックと世界水泳選手権大会には5大会出場し、銀メダル1個、銅メダル4個を獲得するなど、国内外の諸大会で活躍。2013年引退。ミズノスイムチーム所属。

ことで、「物怖じしない精神」を中学生ぐらいで身につけることで、シニアになってもオリンピックなどの国際的な舞台でのびのびと実力が発揮できるんです。

私個人としては、今のこの大事な時期に、水泳界のため、そしてスポーツを楽しむ多くの人たちのために、全力で仕事に取り組んでいきたいと思っています。

さらに将来を考えると、子どもも親と一緒にスポーツを楽しめるような環境づくりに携わっていきたくて考えています。例えば、水泳を普段からやらない人も来くなるような、誰にとっても魅力のあるイベントを提案していけたらいいなと思っています。

株式会社エコ・エイト



代表：須永 八十八(すなが やそはち)
創業：平成13年 業種：廃棄物処理業 社員数：152人
千歳台3-16-15 ☎03-3483-8081
<http://www.eco-eight.co.jp>

男女共同参画への
主な取組み

- 1 男女ともに、能力がある従業員を管理職に積極的に登用。
- 2 無記名で投書できる目安箱を利用した職場環境の改善。
- 3 従業員個別の育児事情に合わせた就業時間の柔軟な変更。
- 4 別業種を学ぶ機会を設けるとともに、希望に応じた登用。

地域への貢献活動

エコボランティアとして多摩川河川敷、富士山等の清掃活動を実施。



クリーンで暮らしやすい環境をめざした地域での清掃活動。



富士登山をしながらの清掃活動。

女性管理職として、働きやすい環境を後輩たちへ

結婚後の入社でしたが、そのときは子どもがまだ2歳と幼く、最初は無事に勤められるか不安もありました。でも、職場の皆さんに温かくサポートしていただき、また夫や近くに住む両親も協力してくれたお陰で、今日まで仕事を続けてこられました。子どもが熱を出したりして急に休まなくてはならないときや、PTA 役員の活動でどうしても仕事に出られないときに、柔軟に就業時間を調整してもらえたので本当に助かりました。

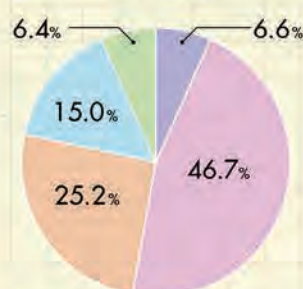
管理職として後輩たちの指導に当たる立場になりましたが、独身の女性スタッフたちが今後、結婚して子育てをするようになってもしっかりと受け継いでいきたいです。



総務部係長
幸 弘美氏
(勤続15年)

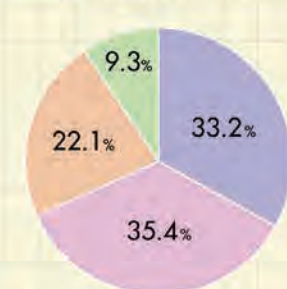
ワーク・ライフ・バランスについての区内企業の考え方

ワーク・ライフ・バランスの取組み状況



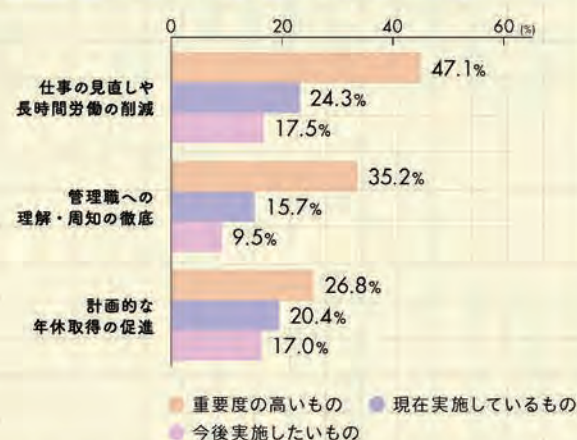
●すでに十分に取組んでいる
●取組んではいるが不十分
●現状のままで問題はない
●全く取組んでいない
●無回答

ワーク・ライフ・バランスの取組みの今後の必要性



●積極的に取り組むべき
●ある程度取り組むべき
●現状のままで問題はない
●無回答

ワーク・ライフ・バランスの取組みで重要度の高いもの、現在実施しているもの、今後実施したいもの



●重要度の高いもの ●現在実施しているもの
●今後実施したいもの

※世田谷区内にある従業員20以上の事業所を対象として平成27年度に実施した世田谷区区内企業の男女共同参画に関する意識・実態調査報告書より抜粋

平成29年度 世田谷区 男女共同参画先進事業者表彰 受賞者決定



表彰式を10月21日(土)に開催しました。

株式会社メモリード東京



代表：小暮 大明(こぐれ おおあき)
創業：平成25年 業種：冠婚葬祭サービス
社員数：229人
砧2-4-27 M2ビル ☎03-3749-0983
<http://www.tokyo-memolead.co.jp>

男女共同参画への
主な取組み

- 1 社員と家族のコミュニケーションを大事にした働き方を推進。
- 2 女性管理職によるサービス向上等に関する会議の開催。
- 3 育児休業復帰者が希望する働き方ができるよう、配置替え等で柔軟に対応。
- 4 非正規社員から正規社員への積極的登用。

地域への貢献活動

地域の方々とコミュニケーションを図ることをテーマにした活動を定期的実施。



地域ふれあい祭りでは地元自治会や商店街を支援。



餅つきを実施し、地域の方へ無料で配布。

家族を大事にできるから 仕事で輝ける

葬祭の仕事というのは、お客様からの突然の悲しみのご連絡に対応いたしますので、子育て中の女性ではなかなか仕事を続けづらい面があります。その点、弊社では、出産・育児休業はもちろん、周りのスタッフの協力により、お子さんの事情による勤務時間の調整や休みなどに対応しやすい環境になっています。

葬祭業に携わって思うのは、家族の絆の大切さ。それだけに、サービス提供にかかわる者も、自分の家族に喜んで仕事に送り出してもらえることが理想です。私も管理職の一人として、女性スタッフたちが家族を大事にしながら安心して働けるようサポートを行っています。



葬祭部マネージャー
大場 尚子氏
(勤続16年)



ひょうてちよう 表手帳で起業

きっかけは患者さんへの思いから

調剤薬局で働いていたとき、患者さんが次にお薬を取りに来られた際に、不足なく準備してお渡しできるように、次の来局日が簡単にわかるカレンダーを作ったのが表手帳が生まれたきっかけです。

月ごとにめくる一般的なカレンダーや手帳と違い、手帳を開くと一年を表にしている渡せることから「表手帳」(ひょうてちよう)とネーミング。月をまたぐ予定も一続きで書き込めるので、計画全体が把握しやすく、目標日まで残り何日というカウントダウンの計算も簡単です。

手帳づくりに専念するため薬局を辞めたとき、夫は理解を示してくれましたが、娘はあきれ、反対しました。でも、かえってそれで奮い立ったところもあります。しかし、いざ商品化となると販売方法など、わからないことだらけでした。

そんなとき、友人から男女共同参画セ



「表手帳」制作・販売
「ひょうちゃん」代表

中野 麻喜子さん
MAKIKO NAKANO



ンターらぶらす。主催の「起業ミニメッセ」や「起業支援塾」を教えてもらいました。そこで販売や起業のノウハウをいろいろと学ばせてもらいました。また、目標に向かっていきいきとチャレンジする仲間たちと知り合うこともでき、刺激を受けることができました。

今年の夏、表手帳の特許を取得しました。知財の公的相談を利用したり自分で勉強して、出願から4年かかりましたが、特許が認められたときは、ほっとしました。また、反対していた娘からも「よかったね」と言われとてもうれしかったです。

女性には、結婚や出産、親の介護などでキャリアを中断させなければならぬこともあります。でも、人生は長いですからそこで終わらずに、さまざまな支援の仕組みを使って、自分を信じて積極的にチャレンジしてほしいと思います。

世田谷区立男女共同参画センター“らぶらす”

〒154-0004 世田谷区太子堂1-12-40 グレート王寿ビル3～5階

☎6450-8510 FAX 6450-8511

【開館時間】午前9時～午後10時

【休館日】毎月第3月曜日および年末年始

【施設概要】研修室、情報・交流コーナー、子ども室、資料コーナー、授乳コーナー ほか



女性のための相談事業

相談室では、暮らしの中の悩み、就職・転職、仕事と家庭との両立など女性が抱える悩みについて相談事業を行っています(要予約・相談料無料)。

女性のための悩みごと相談

毎週水曜日

13:00～20:00

面接相談(予約制)
相談当日の11:00～18:00に電話で
☎6453-1813

女性のための働き方サポート相談

第1・第3土曜日、第4火曜日

10:00～16:00

面接相談の予約(前月1日～相談日前日)
☎6450-8510
当日の面接相談の予約(当日のみ)
☎6453-1813

【らぶらすホームページ】<http://www.laplace-setagaya.net/>

世田谷区ホームページ→施設→暮らし・生活関連施設→男女共同参画センター“らぶらす”をご覧ください